

2021年9月28日

BP キャピタル株式会社  
株式会社 QR インベストメント

## 興能信用金庫、のと共栄信用金庫からの LP 出資の決定について（のと SDGs ファンド）

BP キャピタル株式会社（東京都中央区、代表取締役 松多 洋一郎）と株式会社 QR インベストメント（石川県金沢市、代表取締役 角地 裕司）が運営する奥能登 SDGs 投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）は、興能信用金庫（理事長 田代 克弘）とのと共栄信用金庫（理事長 鈴木 正俊）より、LP 出資を受けることとなりました。

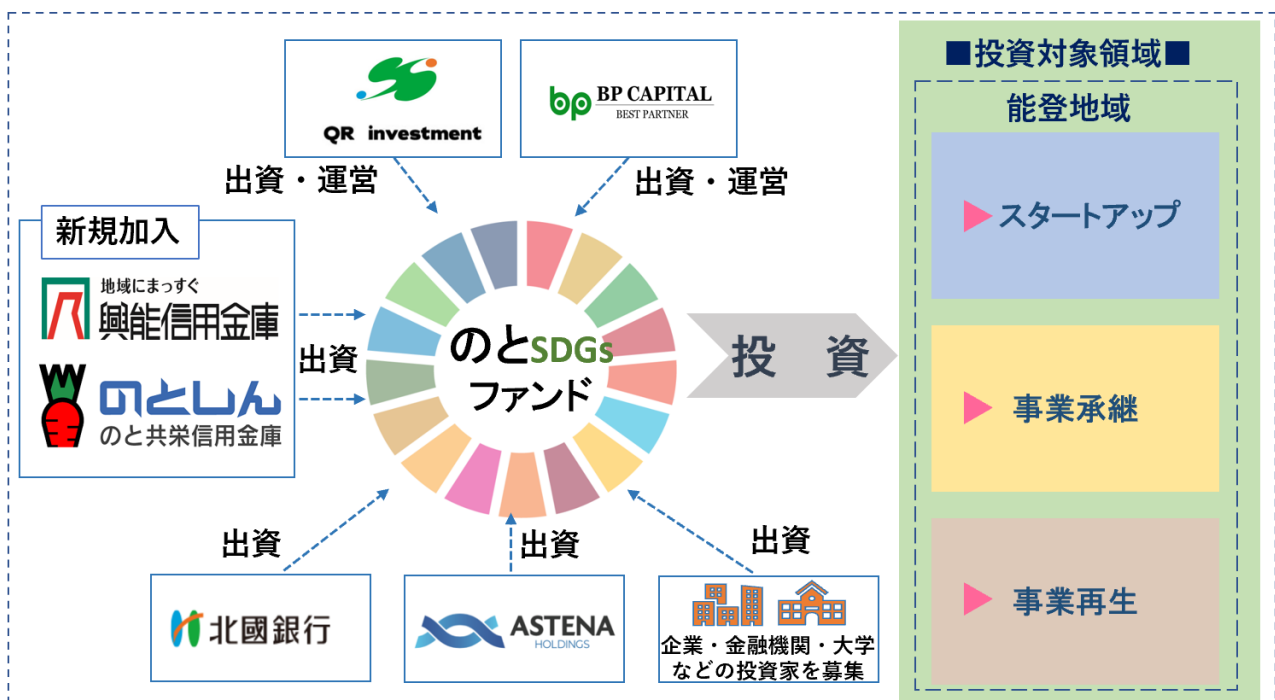
本ファンドでは、内閣府の『SDGs 未来都市』に選ばれた珠洲市をはじめとした能登地域を中心に地域の資産・資源を有効利活用した持続可能なビジネスの創出および SDGs に資する事業を行う企業を支援するモデルを創り、社会変革の実現と SDGs 達成に向けた最初の一步を能登地域から踏み出すことを目指しております。

本ファンドの取組に賛同いただいた興能信用金庫とのと共栄信用金庫との連携により、地域の投資先の支援やコラボレーションによる新規事業の開発等、地域の SDGs 達成に向けた取組を更に推進して参ります。

## 〇のとSDGsファンドの概要

名称	奥能登SDGs投資事業有限責任組合（略称：のとSDGsファンド）
設立	2021年7月26日
ファンド総額	10億円以上
出資者	無限責任組合員（GP）：BPキャピタル株式会社 株式会社QRインベストメント 有限責任組合員（LP）：株式会社北國銀行 アステナホールディングス株式会社 興能信用金庫 のと共栄信用金庫 その他パートナー企業（募集予定）
存続期間	10年（但し、合意により2年間の延長可能）
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 能登地域のSDGs達成に資する事業を行う、日本国内に本店を置く非上場の株式会社</li> <li>▶ スタートアップ企業の場合、シード（プレシード含む）からレイトーまで全ステージが対象</li> </ul>
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 持続的な環境・社会・経済を維持するために必要な事業を展開する企業の成長・承継・再生を支援</li> <li>▶ コンサルティングも含めた幅広い支援において北國銀行グループと連携</li> <li>▶ 現地企業等が必要とする知見や技術を有する様々な企業とのコラボレーション</li> </ul>

## 〇のとSDGsファンドスキーム図



(無限責任組合員)

BP キャピタル株式会社

「地方から日本を元気にする」という理念のもと、地域コミュニティと密に連携し、地域に存在する貴重な資産・資源等を有効利活用し都市圏企業や大学等のリソースも取り込みながら地域活性化に取り組んでいる。

株式会社 QR インベストメント

北國銀行 100%出資の投資専門会社として、地域の顧客の事業を支えることを大きなミッションに掲げる。顧客ステージ毎の様々なニーズに応える資本支援を提供することで、地域全体の成長、価値向上に貢献していく。

(有限責任組合員)

株式会社北國銀行

北陸地域のリーディングカンパニーとして、「豊かな明日へ、信頼の架け橋を～ふれあいの輪を拡げ、地域と共に豊かな未来を築きます～」という企業理念のもと、地域産業のバックアップと地域経済の活性化に取り組んでいる。

アステナホールディングス株式会社

ファインケミカル、医薬、HBC・食品、化学品の4事業を中心に展開する東証1部上場の企業グループ。2021年6月1日に持株会社化、イワキ株式会社から商号変更をするとともに本社機能の一部を奥能登地域の石川県珠洲市に移転。奥能登において「能登SDGsラボ」に参画する産官学金との連携を通して、社会変革を実現し得る新規事業の創出を目指す。

興能信用金庫

能登町に本店を置く信用金庫。「地域にまっすぐ」をモットーに、地域に必要とされる存在感のある金融機関を目指し、地域社会の繁栄のため、地域経済の再生と活性化に積極的に取り組んでいる。

のと共栄信用金庫

七尾市に本店を置く信用金庫。「地域創生、金融サービスを核として地域を全般的にプロデュースする」ことを目指し、地域経済の持続的な発展に努めるとともに、文化・環境・教育といった面にも積極的に取り組んでいる。

<本件に関するお問い合わせ>

BP キャピタル株式会社 担当：浜田  
電話：03-6665-0797 メール：s-hamada@bpcapital.co.jp